

2010 年 4 月 28 日

OECD 国際共同プログラム後援・生物多様性条約 COP10 記念シンポジウム

—農林水産業に寄与する生態系サービスの持続的利用に果たす森林の生物多様性の役割—

## 研究者からのメッセージ

本シンポジウムを通して、生物多様性の保全が持続可能な農林水産業にとって不可欠であることをあらためて確認した。しかし多様性の保全は予想以上に困難であることから、大多数が同意する国際的な及び国内の政策が欠かせない。

従って生物多様性の保全に関する意志決定やその実行に関しては、優れた科学的、技術的知見が不可欠である。

今後は

- 生態系サービスの供給における生物多様性の重要性、
- 特に気候変動への森林及びアグロフォレスト生態系の応答にみられるような、機能群が果たす役割の重要性、
- 生物多様性と生態系の回復力や抵抗力の関係や、環境変化や管理に対して回復可能な森林に対する理論的裏付け、
- 特定の森林生態系における生態系の抵抗力や回復力を上回るような利用の閾値の探索と持続可能な利用への応用、
- 生物多様性条約 2020 年目標のために収集可能なあるいは既存のデータに対して利用価値の高い、測定可能な信頼性のある指標、
- 2020 年を期限とする保全数値目標の妥当性の評価と数値目標に対する科学的裏付け、

について、より明確にしてゆく必要がある。

森林に関わる研究者及び専門家は、生物多様性条約における科学的整合性のある意志決定のために、重要な役割を担っている。森林科学に関わる研究者及び専門家は、豊かで多様な森林維持のために今後も一層の努力を続ける。